

## OVER THE HILLS AND FAR AWAY

Words & Music by Jimmy Page and Robert Plant

まず冒頭のA.ギターについて。左手の押え方は特に難しいとこ ろはないが、ハンマリング・オンとプリング・オフを多用してお り、それを正確なリズムでプレイするのが少々たいへんだ。また 右手は、6弦全部を弾くストロークと、単音をプレイする部分と が入り混じっているところが結構やりにくい。この2点を克報す るには、遅いテンポで練習し、確実にきれいに弾けるようにする ことが大事だ。なお、冒頭の $\frac{4}{4} \rightarrow \frac{0}{4}$ のプリングがどうしてもでき ない人は(これは案外やりにくい)無理にプリングせず、4のD 音もピッキングしてプレイすればいいだろう。固からはリズム隊 が入り、ハード・ロック調になる。ここで重要な役割をはたして

いるのがA.ギターのミュート・ストローク。これで16ビートのノ リを前面に出している。力強くプレイしよう。ドラムとベースは、 この回からの16ビート・プレイの中でのコンビネーションが最大 のポイント。周1小節目の3~4拍で16分のウラ拍で細かくべー スとキックがシンクロしていたり、2小節目の3~4拍でシンコ ペーションのキメがあったりとなかなか難しい。16分のウラが正 確にプレイできるようになるよう、自分勝手なノリでプレイせず、 意識してのぞんでもらいたい。◎12小節目から4分の3拍子にな っているが、各パートともこれは譜面を読もうとせず、体でおぼ えてしまうように。





































